

高信頼性ICタグ

世界最小の世界とRFID

2001年6月に宇佐美光雄は世界最小のRFIDチップを発明、製品化して全世界に向けて発表しました。世界中から大変な反響を呼びました。発表までの2年間苦心惨憺してチップを試作して評価した成果でもありました。

もともと世の中のすべてのバーコードをRFIDチップで置き換えようという発想から始まりました。ですから、世界最小のチップを製作しましたという発表ではなく、これからはこのような時代ですよというメッセージを発信したかったのです。

新しい技術発表はさまざまな反響をよび起こします。それは単に製品発表ではなく、大きなコンセプトの発表でもあるからです。

世の中に新しいことを伝えることにより多くの賛同者をよび起こして、さらにそれは大きな動きとなっていきます。

世界最小の世界とRFIDはその実現性を示すと同時に未来につながるキーワードを示していると考えています。